



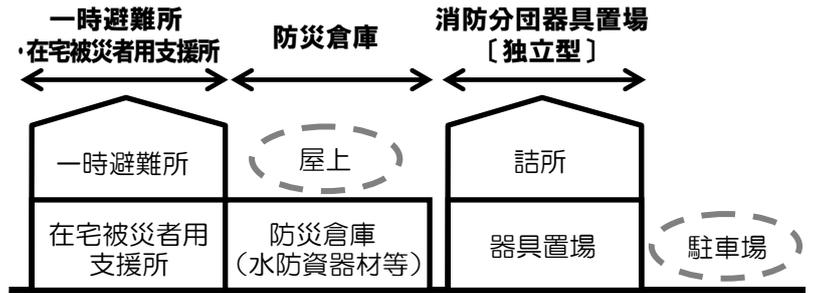
第3回布佐東部地区復興会議を開催しました

平成25年7月28日(日)午後6時より、近隣センターふさの風にて、第3回布佐東部地区復興会議を開催しました。当日は市より防災施設(防災センター)の建て方イメージや管理・運営の考え方について説明を行い、参加者からは施設の使い方や立地する場所などについて意見をいただきました。

◇施設整備の方針

- ・災害時に必要となる防災倉庫や、近隣住民の一時避難所・在宅被災者用支援所の機能を有する「防災施設(防災センター)」を整備する。
- ・一時避難所・在宅被災者用支援所は、平常時、地域の集会や催し(祭りなど)で活用できるよう、管理・運営は地元団体(自治会等)が行なう。

◇建て方のイメージ



◇これまでの検討内容のまとめ

機能	一時避難所・ 在宅被災者用支援所	防災倉庫	消防分団 器具置き場
使い方	平常時は集会や交流の場として活用	水害等に備えた 資器材庫	消防器材 置き場 〔独立型〕
設備	短期間の滞在が可能となるよう、台所・トイレ(男女別)・風呂を設ける		
管理・運営	地元団体(自治会等)	消防本部	消防分団
規模	50㎡程度	30㎡程度	40㎡程度
場所	利根川堤防の近接地		



当日の内容

1. 議事
 - (1) 市より説明
 - ・第2回復興会議のおさらい
 - ・これまでの検討を踏まえた施設整備の方針
 - ・防災施設の建て方イメージ
 - ・整備スケジュール
 - (2) 各参加者の意見交換
 - ・管理・運営と建て方
3. その他
 - ・今後の進め方 など



参加者からいただいたご意見の概要 (施設の管理・運営と建て方)

○施設の使い方

- ・施設に隣接して駐車場や広場があると、炊出し等を行なうときに一体的に使えて便利。

○管理・運営

- ・平常時は自治会が管理するとした場合、非常時は市のどの部署が管理するのか。
- ・必要な備品は今後詳しく検討していく。

○整備する場所

- ・消防分団としては早朝・夜間の活動のためには住宅地から離れた場所の方が良い。
- ・集会に使う場合の利便性を考えると、必ずしも防災倉庫と同じ場所に建てなくても良いのではないかと。
- ・多目的に利用するためには、機能を集約して広い敷地を確保して建てた方が良い。

意見交換の様子



今後の予定

次回はこれまでの検討を踏まえ、施設整備の要望を取りまとめます！

次回	第4回【最終回】
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備の要望を取りまとめ ・今後の布佐東部地区のまちづくりの方針を整理・共有
実施予定	8月31日(土) 午後6時から